

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-142	24-079	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Epidemiology characteristics of the drinking patterns and alcohol consumption among adults in Hainan Province, China 中国海南省における成人の飲酒パターンと飲酒量の疫学的特徴		
執筆者		
Ou T, Jiang J, Sun D, Liu Y, Xiong C, Wang X, Zhou X, Wu H, Zhang L, Wang C, He B.		
掲載誌		
Front Public Health. 2025 Mar 17;13:1490439. doi: 10.3389/fpubh.2025.1490439. eCollection 2025.		
キーワード	PMID	
飲酒パターン、飲酒量、製品、中国国民、公衆衛生	40165987	
要旨		
<p>目的：飲酒は、若年および中年層における早期死亡や疾病負担の主要なリスク因子である。中国では飲酒率が上昇傾向にあり、地域ごとの飲酒行動の実態把握が急務となっている。本研究は、中国海南省における成人の飲酒パターンと飲酒量を明らかにし、人口統計学的要因との関連を評価することを目的とした。</p> <p>方法：2022年に海南省で実施された「2+3」疫学調査のデータを用い、18歳以上の住民32,857名を対象に飲酒の種類、頻度、摂取量を分析した。飲酒頻度は週5日以上を「活発」、週1~4日を「中程度」、月3日以下を「非活発」と定義した。純アルコール摂取量は、酒類のアルコール度数、平均飲酒量、飲酒頻度から算出し、週単位で評価した。統計解析にはカイ二乗検定、重回帰分析、ロジスティック回帰分析を用いた。</p> <p>結果：全体の飲酒率は42.8%であり、男性(64.4%)は女性(18.9%)より有意に高かった。30歳から39歳の男性の飲酒率が最も高く、少数民族(70.1%)は漢民族(36.8%)より高率であった。平均週当たり純アルコール摂取量は男性59.8mL、女性10.9mLであり、男性の43.6%が週100mL以上を摂取していた。教育水準が低い者ほど活発な飲酒傾向が強く、農業従事者や農村部住民での飲酒量が多かった。重回帰分析では、性別(標準化$\beta=0.40$)と民族($\beta=0.14$)が飲酒量に最も強く関連していた。男性は女性に比べ、週21~100mL摂取のオッズ比は4.10、100mL超のオッズ比は12.17と高かった。</p> <p>結論：海南省の成人における飲酒行動は、性別、年齢、民族、教育、職業などの社会人口学的要因と密接に関連しており、特定の高リスク集団に対する文化的に配慮した介入が必要である。今後の公衆衛生政策は、飲酒頻度と量の削減を目指したターゲット戦略に重点を置くべきである。</p>		